

相談・対応することで次のことが期待できます

本人や家族の心がまえ

先のことを予測して利用できるサービスを調べたり、認知症に向き合う準備ができる

治療で改善が期待できる

原因となる疾患によっては治療で認知症が改善したり、進行を遅らせる効果が期待できる

今の生活の維持

本人のできることや社会参加を続け、生活の質の向上が期待できる



早めに受診しましょう

受診が難しいとき

※専門職がチームを組み
認知症の人や家族に早期
の支援を行います
(地域包括支援センター内)

かかりつけ医に相談

地域包括支援センターに相談
※認知症初期集中支援チーム

連携

連携

連携

市内医療機関、認知症サポート医等

認知症疾患医療センター/佐世保中央病院

☎:0956-33-7122

若年性認知症サポートセンター/長崎県庁内

☎:095-895-2437

お気軽にご相談ください

相談窓口（対象地区）	所在地	連絡先
松浦市 地域包括支援センター (担当：市内全域)	志佐町里免365 (市役所長寿介護課内)	☎：0956-72-1111 (内線：177) FAX：0956-73-0022
福島保健センター (担当：福島地区)	福島町塩浜免2944-41	☎：0955-41-3005 FAX：0955-41-3035
鷹島支所 (担当：鷹島地区)	鷹島町中通免1718-2 (市民総務係内)	☎：0955-48-3111 (内線15) FAX：0955-48-3488

2025年12月改訂

松浦市認知症ケアパス

松浦市 認知症あんしんガイド



認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活するために

認知症 早期発見のめやす

もの忘れ
がひどい

- ☐ 今切ったばかりなのに、
電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 同じことを何度も言う・
問う・する
- ☐ しまい忘れ置き忘れが増え、
いつも探し物をしている
- ☐ 財布・通帳・衣類など盗ま
れたと人を疑う
- ☐ 料理・片付け・計算・運転
などのミスが多くなった
- ☐ 新しいことが覚えられない
- ☐ 話のつじつまが合わない
- ☐ テレビ番組の内容が理
解できなくなった
- ☐ 約束の日時や場所を間違
えるようになった
- ☐ 慣れた道でも迷うようにな
った

人柄が
変わる

- ☐ ささいなことで怒りっぽく
なった
- ☐ 周りへの気づかいがなくなり、
頑固になった
- ☐ 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ このごろ様子がおかしい
と周囲から言われた
- ☐ ひとりになると怖がったり
寂しがったりする
- ☐ 外出時、持ち物を何度も確か
める
- ☐ 頭が変になったと本人が訴える
- ☐ 下着を替えず、身だしなみを
構わなくなった
- ☐ 趣味や好きなテレビ番組に
興味を示さなくなった
- ☐ ふさぎ込んで何をするのも
おっくうがり嫌がる

判断
理解力が
衰える

不安感が
強い

時間・
場所が
わからない

意欲が
なくなる

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです
医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください
いくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医などに相談してみると良いでしょう

出典：公益社団法人認知症の人と家族の会作成

もしかして認知症？と思ったら・・・

早期に相談や受診をして、症状の改善や進行を遅らせることが大切です

※認知症は、原因となる疾患や身体状況などにより個人差があるため、必ずしもこの通りになるわけではありませんが、大まかな目安として参考にしてください

認知症とは

いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまい、脳の司令塔の役割に不都合が生じ、日常生活での支障が6か月以上続いた状態

- ◇アルツハイマー型：早い段階から記憶障害、見当識障害のほか不安やうつ・妄想が出やすい
- ◇脳血管性認知症：脳や神経に栄養や酸素が行き渡らず、意欲が低下したり複雑な作業ができない
- ◇レビー小体型認知症：パーキンソン症状や幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴
- ◇前頭側頭型認知症：がまんしたり思いやりなどの社会性を失い、我が道を行く特徴がある

若年性認知症 65歳未満で発症する認知症、就労や生活費、就学期の子どもがいたり経済的な問題を抱えやすく、状態や環境によりさまざまな制度がある

- 若年性認知症コールセンター(全国) ☎:0800-100-2707
相談日・時間 年末年始・祝日を除く
月～土曜日 10:00～15:00
水曜日のみ 10:00～19:00



状態像	日常生活は自立している		見守りがあれば自立している	日常生活に手助けや介護が必要	常時、手助けや介護が必要
	もしかして認知症？	軽度の認知障害 (MCI)	(軽度) 認知症	(中等度) 認知症	(高度) 認知症
本人の症状と気持ち	○食べたメニューを忘れる ○人の名前が出てこない ○ヒントを与え思い出す <ul style="list-style-type: none">● 「うまくいかない」と思うこともあるがまだ大丈夫、元気だと思っている	○通常の日常生活では支障がないが、時間がかかり、間違いが増えたりする ○新しいことを覚えるのが苦手 <ul style="list-style-type: none">● 「何か変だなあ・・・」と感じている● 今までできていたことが、できなくなり戸惑うことが増えてきた	○物の置き忘れ、しまい忘れが増える ○「ものを盗まれた」等と言う ○日付や時間がわからない ○同じ物を何度も買ってしまう ○服装を気にしなくなる <ul style="list-style-type: none">● もの忘れが度々起こり、混乱しやすくなる● 周囲との摩擦で、疑いや怒りの気持ちが出てくる	○もの忘れが進む ○季節にあった服が選べない ○着替えや入浴を嫌がる ○道に迷い、家に戻れないことがある <ul style="list-style-type: none">● 話を聴いて欲しい、役割や居場所があると嬉しい● もの忘れしたことを忘れ、困ったことはないと言う● バカにされたなどの嫌な気持ちが心に残りやすい	○昔の記憶も忘れやすくなる ○家族の顔を他人と間違えたり、わからなくなったりする ○言葉の理解が難しくなる <ul style="list-style-type: none">● 言葉で意思を伝えることが難しくなってくる● 「気持ちいい」「嬉しい」等の感情は残っており表情やしぐさで気持ちを表現できる
		◇本人の気持ちを理解することに努め、やさしい声掛けを心がける ◇集いの場など、良い刺激になる社会参加がないか考えてみる ◇認知症の対応や支援の輪を知るため認知症サポーター講座や認知症カフェに参加してみる	◇対応の基本は3つの”ない” 急がせない、驚かせない、自尊心を傷つけない ◇デイサービスの利用など介護保険制度やサービスを上手に利用し、本人がいきいきと生活できる居場所を整える ◇一人だけ、家族だけで抱え込まないよう、早めに相談窓口相談してみる	◇家事や仕事、趣味など本人に残されたできることを大切にする ◇家族の負担が増えてくる時期、家族が認知症であることを身近な人に伝え理解者や、協力者を作る ◇自宅に戻れなくなることがないよう、地域見守りネットワークの登録をすすめる	◇言葉のコミュニケーション以外に、優しく手を握ったり背中をさするなどのスキンシップを心がけ本人の快さを重視してみる ◇常時介護が必要な状態のため、医師やケアマネージャーに相談し、介護の分担を行いストレスをためないよう家族の健康も大切にする

民生委員
認知症サポーター

いきいきサロン

閉じこもり防止と介護予防のためレクリエーション等の活動を行う

地域の集いの場

地域の方が主体の交流の場、百歳体操やおしゃべり等の活動がある

すっきり元気教室

介護予防のため脳トレ等のプログラムを行う

介護予防教室

専門職による短期集中型の介護予防のための教室

地域見守りネットワーク

協力事業者が異変の発見時に市や関係機関に連絡し、早期対応を図る。見守りネットワーク事前登録者が行方不明になった際に捜索に協力する

消費生活センター

悪徳商法や特殊詐欺などの被害にあわないような啓発や、各種消費生活に対する相談を行う ☎:0956-72-1861

折り梅カフェ(認知症カフェ)・家族介護者交流会

本人、家族が認知症について気軽に語り合える場所

日常生活自立支援事業

手続きや金銭管理のお手伝い 成年後見制度 契約や金銭管理支援 緊急通報装置、徘徊感知機器の無料貸し出し

居宅サービス

デイサービス、認知症対応型デイサービス、デイケア、訪問介護、訪問看護、ショートステイなど

施設サービス

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、グループホーム、養護老人ホーム等